

事業所向け 事業所自己評価表【北風と太陽】

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係でできせつであるか		○		各事業所の広さは様々であり、決められたスペースに応じて、適切な療育活動を心がけている。
	②	職員の配置数は適切であるか		○		特性の強い児童が多い日は、配置を考えて動いています。
	③	事業所の設備等について、子どもにわかりやすい配慮がなされているか。またバリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			先の見通しや目で見てわかるように、絵カードを使用している。
	④	清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また子ども達の活動に合わせた空間になっているか	○			送迎に出ない職員が日頃からより良い環境づくりに努めてくれています。
業務改善	⑤	業務改善を進めるための計画⇒実行⇒評価⇒改善(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			都度その場にいる職員で話合ったりしてはいますが、兼務職員やパート職員には回覧ノートなどで確認してもらっています。
	⑥	保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			返却されたアンケート内容を職員同士で共有し、改善できる点はすぐに改善しています。
	⑦	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	第三者評価は行っていませんが、日々改善に努めています。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			社内全体研修(2か月に一度)、外部研修にも参加しています。
適切な 支援の 提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○			アセスメントや、保護者や関係機関との連携で得た情報を元に、複数の職員の意見をまとめることで客観的に分析しています
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			クリニック等の発達検査の結果を保護者と共有させていただいています。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			いつでも支援計画を確認できるよう、療育記録にも支援計画書を入れていきます。
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			週替わりの担当制で、なるべく内容が偏らないよう工夫しています。
	⑮	活動プログラムが話し合いのもとで計画的に進められているか	○			療育中の職員の配置やサポートの内容も都度確認して行っています。
	⑯	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか(放課後)		○		
	⑰	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			集団活動はもちろん、個別の学習時間も必ず設けています。
	⑱	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			どのような支援が必要なのか、今後どこを伸ばしていけるかなど職員間でその都度話をしている。
	⑲	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		振り返りの時間は設けていないですが、必要な共有事項を伝達しあっています。

	⑳	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援検証・改善につなげているか	○			出来る限り詳しく情報を記入するようしたり、誰が見ても分かるように心がけており、特記欄に気になったことや、体調なども記入しています。
	㉑	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			子どもの現状と現計画を把握することに努めています。
	㉒	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援をおこなっているか(放課後)		○		
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉓	障がい児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			相談支援事業所職員の見学を受け入れ、管理者・児発管が対応し、子どもの状況を共有していますがコロナ禍でなかなか見学には来ていただけていません。
	㉔	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時間の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○			都度間違いがないよう、職員間での確認・共有に努めています。変更の見込みがある場合はこちらから確認のご連絡をさせていただきます。
	㉕	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合、保護者のニーズがあった場合、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		現在は該当しませんが、必要な場合は連絡体制を整えていきます。
	㉖	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			必要に応じて、事業所職員が関係機関に見学に行ったり電話で連絡を取り合ったりしています。
	㉗	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行時、保護者の要望があった場合それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		現在非該当ですが、必要な場合は対応致します。
	㉘	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			社内研修でお呼びしたり、外部研修への参加もしています。
	㉙	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			○	
	㉚	(地域自立支援)協議会等の研修へ積極的に参加しているか	○			コロナ禍なので難しくはありますが、オンラインなど可能な限り参加します。
	㉛	日頃から子どもの状況を保護者に伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時や連絡帳、お電話にて日頃から共通理解に努めています。
	㉜	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか		○		連絡ノートや口頭で困り感があった際は関わり方を提案したり、保護者の要望があれば参観、懇談を実施しています。
保護者への説明責任等	㉝	運営規定、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉞	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援の同意を得ているか	○			説明時間を設け児発管より説明した後、同意をいただいています。
	㉟	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行う	○			いつでも相談を受け付け、適切な助言に努めています。必要な場合は調べたり他機関に相談しています。
	㊱	父母の会の活動を支援したり、保護者会や茶話会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	現在希望がない為実施していません。
	㊲	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			現在は行っていないが、多数希望があれば開催することを検討します。
	㊳	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			
	㊴	個人情報に十分注意しているか	○			
	㊵	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のために配慮をしているか	○			各児童や保護者(家庭)に合った対応をしています。
	㊶	事業所の行事(ワークショップ)に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	

非常時等の対応	④②	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか		○		職員間で周知はしているが、保護者に伝える機会を設けていなかった為、今後改善していきたいです。
	④③	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			
	④④	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を把握しているか	○			
	④⑤	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切に対応しているか	○			研修機会を確保しています。
	④⑥	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			子どもへの説明が難しい場合もありますが、必ず説明し同意を得ます。
	④⑦	食物アレルギーのある子どもについて、保護者の要望に応じて医師の指示書に基づく対応がされているか	○			契約時に確認し、適切な対応をしています。
	④⑧	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			